

(学校用)

様式 A-1

平成 26 年 12 月 4 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 山梨県立日川高等学校・剣持 澄子
2. 講師氏名: SAITO. STENETORP Pontus 博士
3. 同行者氏名: 橋本 和真
4. 実施日時: 平成 26 年 7 月 14 日 (月) 14 : 50 ~ 16 : 30
5. 参加生徒: 3年生 37人、__年生 __人、__年生 __人 (合計 __人)
備考: (例:理数科の生徒) SSHクラスの生徒
6. 講演題目: (英文) Teaching machines to understand human language
(和文)
7. 講演概要:
自動翻訳等ができるように、コンピュータに言語をインプットしていく方法について講義していただきました。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
事前に送ってもらった講義の要旨
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: 特になし。